

2007-08年度 国際ロータリー 第2580地区

クラブ会長エレクト研修セミナー 並びに地区協議会 (沖縄分区)

報告書



「夢をかたちに」

2008-09年度
国際ロータリー会長テーマ

2008-09年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです

と き 2008年4月2日 (水)
と ころ ラグナガーデンホテル
ホ ス ト 宜野湾ロータリークラブ

目次



2008-09年度 国際ロータリー会長 あいさつ	李 東建	-----	1
国際ロータリー第2580地区 ガバナーご挨拶	浅川 皓司	-----	3
国際ロータリー第2580地区 ガバナーエレクトご挨拶	櫻井 権司	-----	4
歓迎のご挨拶 ホストクラブ宜野湾RC会長	白間 弘造	-----	5
地区協議会プログラム		-----	6
地区協議会ご招待者		-----	7
部門別協議会 リーダーサブリーダー及び会場		-----	8
部門別協議会出席者		-----	9
2008-09年度 地区目標 (ガバナーエレクト)	櫻井 権司	-----	10
<本会議>		-----	11
本会議 (第1部)		-----	12
本会議 (第2部)		-----	15
本会議 (第3部)		-----	16
< 部門別協議会 >		-----	20
会長・幹事部門 (クラブ会長・幹事)		-----	21
ロータリー基金推進室部門 (ロータリー財団・米山奨学委員会・バギオ基金)		-----	25
クラブ指導者部門 (クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・ロータリー情報)		-----	29
< 懇親会 >		-----	33
PETS・地区協議会実行委員会組織		-----	35
会場案内図		-----	36



2008-09年度
国際ロータリー会長
李 東建



ロータリーの奉仕の最たる特質は、一貫して、やるべきことは成し遂げるといふロータリアンの固い志に表れています。私たちは日々、何千、何万という地域社会の中で、周囲を見回し、どこで、どのような形で人々を助けるのがベストかに思いを巡らせています。

私たちが行う支援活動はさまざまな状況に対応するものであり、その方法もまた多種多様です。クラブのレベルでは、学校に本を寄贈したり、身体障害者の世話をしたり、職業プログラムでボランティアをするなどの活動があります。クラブ同士が協力し合えば、単一クラブでは実現できないようなプロジェクトも可能になります。

さらには、ロータリー財団の支援の下に、世界中の全クラブが一体となったとき、最も遠大かつ重要な目標である「世界からのポリオの撲滅」に渾身の力で取り組むことさえ可能になりました。

奉仕プロジェクトを選ぶにあたって、私たちは最大の成果が期待でき、後々まで恩恵が残されるものを実施するよう最善を尽くします。しかし、素晴らしい世界を後世に残すためには、まず、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。ですから、2008-09年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を

当てていただきたいのです。

健康を享受する機会は、すべての子供に与えられて当然のものであります。しかしながら、毎日、避けられるはずの原因で命を落とす5歳未満の子供の数が3万人を超えているのが現状です。この数字を初めて知ったとき、私は、そんな馬鹿な、何かの間違いに違いないと思ったものであります。しかし、その数字に誤りはありませんでした。

悲しいかな、世界では毎日のように、肺炎やはしか、マラリアといった治療可能な病気で死んでいく子供たちが後を絶たないのです。最も基本的な資源であるきれいな水が手に入らないために死いく人々も一日に何千人といえます。栄養失調や貧困も、ほかの要因と絡み合って、多くの人々の命を奪う主な原因となっています。

今後1年間の私の希望は、子供の死亡率の低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの主要目標にさせていただくことです。

この思いから、私は2008-09年度のRIテーマを「夢をかたちに」としました。食糧と水、保健と就学、充実した人生を送り、寿命をまっとうすること……、これは（今現在）多くの子供たちにとって見果てぬ夢に過ぎません。2008-09年度、このような子供たちとその家族のために、どうか「夢をかたちに」してくだ

さるようお願いいたします。そして、幸せと健康に恵まれた平和な世界を築くというロータリーの夢に向かって、私とともに歩み、活動してください。

子供の死亡のほとんどは開発途上国で起きているため、ここに私たちは力を注がなければなりません。一方、それぞれのロータリークラブも地元地域の子供たちの安全と健康に寄与することで、責任を果たすことができます。最も豊かな国においてさえ、医療サービスを受けることのできない子供たちがいます。火災警報器、自転車用ヘルメット、子供用安全シートといった、ごく単純な器具がないために、毎日、子供が死んでいるのです。そして、世界のあらゆる場所で、子供たちはいまだポリオの脅威にさらされており、私たちが約束どおりポリオのない世界を築くまで、その脅威から免れることはありません。

私も人の親であればこそ、わが子や孫たちの存在がいかに大切なものであるかが理解できます。私たちは子供をかわいがり、育て、全力をもって彼らの身を守ろうとします。ロータリアンである私たちは、さらに、地元地域のみならず、世界中の子供たちをかわいがり、育て、守り抜く責任があると私は信じております。

ここ数年の間、RI会長は、同じ奉仕の強調事項を引き継いで掲げ、毎年、保健と飢餓追放、水、識字率向上を主眼とするプロジェクトに力を注いできました。この決定にはしかるべき理由があります。これらの強調事項は、ロータリーのリソースを最大限に生かして、目に見える進歩が期待できる分野だからです。また、莫大なニーズをはらむこれらの分野でロータリアンが発揮できる力も十分にあります。

この3つの強調事項を、私もまた引き継いでいく所存です。その中で、私がロータリー家族全員にお願い申し上げるのは、今ロータリー年度、子供たちの生活をより良くするプロジェクトに焦点を当てるよう特別に努力していただくことです。

目標を達成するにあたり、3つの強調事項のそれぞれの分野は、相互に密接につながっています。水系感染の疾病で死亡する子供の数は1日あたり6,000人です。安全な水があれば、この数字を直ちに、しかも劇的に減らすことができます。栄養が十分であれば、子供は健全な発育を遂げ、病気への抵抗力も増します。そして、読み書きの能力を備えた子供は、将来、自らが家庭を築くようになったとき、豊かな環境の中で健全な育児を営むことができる確率が高まるでしょう。

ロータリーは、まさに地球規模のボランティアたちのネットワークです。ですから、世界中のクラブが協力し合い、私たちがもてる技能と資材のすべてを結集させるなら、絶妙なタイミングで、ここぞという場所に、これぞという援助を提供することができるのです。私たちが一丸となったとき、子供の死亡率を低下させるという果敢な目標さえ取り組みが可能になります。これが類いまれな私たちの組織の資質です。私たちがあらん限りのリソースを生かし、各クラブとロータリー財団のリソースをも駆使するなら、真の意味で変化をもたらし、世界の子供たちのために「夢をかたちに」することができるでしょう。

李 東建



2008-09年度国際ロータリー会長

ご挨拶



国際ロータリー第2580地区
ガバナー 浅川 皓司

本日ここに国際ロータリー第2580地区2007～08年度沖縄分区のPETSならびに地区協議会が、多数のロータリアンのご参加を得て開催される事になりました。

今年もアメリカのサンディエゴにおいて、去る1月13日から1月20日まで、ガバナーエレクトの研修会であります国際協議会が開催され、櫻井権司ガバナーエレクトが出席されました。

国際協議会は、RI役員、指導者をはじめ世界中から530余名のエレクトと同数の配偶者など多数の参加者を得て開催されます。

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

をテーマに掲げられた今年度のウィルフリッド・ウィルキンソンRI会長の後を継がれ、韓国からはじめてRI会長に就任される D.K.LEE RI会長エレクト から、次年度のRIテーマ

MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

が発表されました。

このテーマならびに協議会での会議の内容については、この後、櫻井権司ガバナーエレクトから詳細にご説明があると存じます。

本日のこのPETSならびに地区協議会は、次年度を迎えるための、地区内各クラブの次年度 会長・幹事・委員長などクラブの指導者養成を目的にした重要なプログラムであります。夫々のお立場で、最新の情報を得られ、多くの事を学んでいただきたいと思います。

櫻井権司ガバナー年度が実り多い年でありますように、あわせて本日ご出席の皆様のご活躍とご健勝、ならびに皆様のクラブの益々のご発展を心から祈念申し上げます。

最後に、本協議会のホストを担当された宜野湾ロータリークラブの皆様のご尽力に、深甚なる敬意と感謝の意を表してご挨拶とさせていただきます。

(沖縄PETS 地区協議会) ご挨拶



国際ロータリー第2580地区

ガバナーエレクト 櫻井 権司

本年1月、サンディエゴで開催されました国際協議会で、D.K.Lee RI 会長エレクトの強調事項並びにテーマ「**Make Dreams Real**」“夢をかたちに”が発表されました。又、国際ロータリーの最新情報を基に討論を重ねた一週間であり、強い衝撃を受けました。この会議で国際ロータリーの現況、進む方向が見えたような気がいたします。しかしながら、日本の多くのロータリアンが考えている方向性との違いがあることも事実であり、そして又、国際ロータリーに向かう姿勢が消極的である事も事実と感じました。

この様な中で、地区では唯一RI役員であり、地区のリーダーとしての役割を果たす為には、地区内3,500名のロータリアンと共に正面からロータリーに取り組む必要があると考えます。

次年度地区目標の第一に「**活力あるクラブを目指して**」を掲げ、地区組織全力を上げて71クラブを支援することを決意し、その為地区組織を変更いたしました。ロータリーの主体はクラブにあり、クラブの会長及び指導者が自ら強い自覚と指導力を発揮して頂かなければ、活力あるクラブ、強いては魅力あるクラブは生まれません。

沖縄分区では、会長エレクト研修セミナー並びに地区協議会を同時開催といたしました事は、出席者の皆様には満足行かないところがあるかもしれませんが、次年度クラブの目標設定の一助となり、参加者全員の意欲が喚起され、2008~09年度が素晴らしい一年になるようご祈念申し上げます。

最後になりましたが、このセミナー並びに地区協議会のホストをお勤め頂いた宜野湾ロータリークラブの皆様には、多大な時間を掛け、周到な準備をされ、運営をして頂き感謝申し上げます。

歓迎のご挨拶



ホストクラブ

宜野湾ロータリークラブ

会 長 白 間 弘 造

2007～2008度 国際ロータリー第2580地区沖縄分区クラブ会長エレクト研修セミナー並びに地区協議会へご参加の皆さん、ホストクラブ 宜野湾ロータリークラブを代表致しまして歓迎のご挨拶を申し上げます。

在京クラブより浅川ガバナー、櫻井ガバナーエレクト、歴代パストガバナーをはじめ、役員の皆様のご列席を賜り、また、沖縄分区から各クラブの会長、幹事エレクトの皆さん、総勢100余名のご参加を頂き、勉強会を開催することが出来ますことを、心から感謝申し上げます。

国際ロータリー第2580地区沖縄分区クラブ会長研修セミナー並びに地区協議会のホストクラブの指名を頂き、実行委員長に宮城富夫会員、副実行委員長に泉恵得会員を中心に会員全員で取り組んで参りました。

次年度の櫻井ガバナーは、新しい時代の新しいロータリークラブの在り方を真剣に取り組んでおられ、地区テーマに『おかげさまの心で夢をかたちに』を提唱されました。

本日お集まりの皆さんは、これから行なわれます研修セミナーや、部門別協議会、そしてオープンフォーラム等をしっかり勉強して頂き、次年度櫻井ガバナーの年度が、素晴らしいロータリー年度になりますよう、心から祈念申し上げます。

最後に勉強会の後にささやかな懇親会を準備致しておりますので、最後まで、ご参加下さいますようお願い申し上げます、歓迎のご挨拶と致します。

P E T S ・ 地区協議会プログラム



2007-08年度 国際ロータリー 第2580地区
(沖縄分区)クラブ会長エレクト研修セミナー並びに地区協議会

2008年4月2日(水)

9:30	登録		
10:00	<本会議(第1部)>	司会進行; 阿部の朝子、吉田 明正	
	開会 点鐘	ガバナー	浅川 皓司
	国歌並びにロータリーソング「奉仕の理想」斉唱	ソングリーダー	新垣 真由美
	歓迎の言葉	ホストクラブ会長	白間 弘造
	来賓役員紹介	ガバナー	浅川 皓司
	ガバナー挨拶	ガバナー	浅川 皓司
10:20	国際協議会報告		
	所信表明並びに次年度地区基本方針	ガバナーエレクト	櫻井 権司
~~~~~			
12:00	昼 食		
~~~~~			
13:00	<本会議(第2部)>		
	研修セミナー	講師	戸田 一誠 PG 研修委員長
14:30	~~~~ 会場移動 ~~~~		
14:45	<部門別協議会>		
	1 会長・幹事部門		
	2 ロータリー基金推進室部門 (ロータリー財団・米山奨学委員会・バギオ基金)		
	3 クラブ指導者部門 (クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・ロータリー情報)		
16:15	~~~~ 会場移動/コーヒープレイク ~~~~		
	< リラックス体操 >		
16:30	<本会議(第3部)>		
	オープンフォーラム	会議誘導役	櫻井 GE
	アドバイザー	浅川 G、戸田 PG、古宮 PG、小澤 PG、坂下事務局長	
17:30	ガバナー以外挨拶	ガバナーエレクト	櫻井 権司
	次回沖縄PETS地区協議会ホストクラブ発表	ガバナー	浅川 皓司
	次回沖縄PETS地区協議会ホストクラブ会長挨拶		
		名護RC会長以外	吉川 清剛
	閉会のことば	地区協議会実行委員長	宮城 富夫
17:45	閉会 点鐘	ガバナー	浅川 皓司
	~~~~ 会場移動 ~~~~		
~~~~~			
18:00	<懇親会>		
		司会進行; 高江洲 静江、吉田 明正	
	開会のことば	次年度沖縄分区G補佐	名幸 俊海
	挨拶	ガバナーエレクト	櫻井 権司
	乾杯の音頭	ガバナーノミニ	多田 宏
	アトラクション		
	~~~~ 手に手 つないで ~~~~	ソングリーダー	新垣 真由美
19:00	閉会のことば	ホストクラブ会長エレクト	儀間 良仁

# 地区協議会ご招待者



## 来 賓

パストガバナー	現／次年度地区研修委員長 ※クラブ指導者部門リーダー	戸田 一誠	東京練馬西
パストガバナー	次年度ロータリー基金推進室長 ※ロータリー基金推進室部門 リーダー	古宮 誠一	東京東
パストガバナー	地区拡大増強委員長 ※会長・幹事部門リーダー	小澤 秀瑛	東京青梅

## 2007-08年度地区役員

ガバナー	※クラブ指導者部門リーダー	浅川 皓司	東京王子
ガバナーエレクト	※会長・幹事部門リーダー	櫻井 権司	東京武蔵野
ガバナーノミニー		多田 宏	東京神田
地区幹事	※クラブ指導者部門リーダー	小川 明治	東京王子
現／次年度地区研修副委員長	※クラブ指導者部門リーダー	渡部 恭伸	東京練馬西
地区拡大増強副委員長	直 前 地 区 幹 事 ※会長・幹事部門リーダー	岩尾 碩	東京青梅

## 2008-09年度地区役員

次年度地区幹事	※会長・幹事部門リーダー	鈴木 照夫	東京武蔵野
次年度地区副幹事		豊田 正司	東京あすか
(財)ロータリー米山記念 奨学会事務局長	※ロータリー基金推進室部門 リーダー	坂下 博康	東京北

## 2008～09年度沖縄分区役員

次年度ガバナー補佐		名幸 俊海	那覇西
-----------	--	-------	-----

## その他

【東京】地区協議会ホストクラブ		加藤 光孝	東京練馬西
-----------------	--	-------	-------

## 部門別協議会 リーダーサブリーダー及び会場



部門名	会場	リーダー	サブリーダー (記録係)
<b>会長・幹事部門</b> ・会長 ・幹事	小宴会場 「平安の間」 (2階)	小澤秀瑛PG 櫻井権司GE 鈴木照夫次年度地区幹事 岩尾 碩 元地区幹事	仲吉 サダ子
<b>ロータリー基金推進室部門</b> ・ロータリー財団 ・米山奨学委員会 ・バギオ基金	中宴会場 「明海の間」 (2階)	古宮誠一PG 坂下博康 米山奨学会事務局長	新垣 義夫
<b>クラブ指導者部門</b> ・クラブ奉仕 ・職業奉仕 ・社会奉仕 ・国際奉仕 ・ロータリー情報	大宴会場 「羽衣の間」 (西) (2階)	戸田一誠PG 浅川皓司G 小川明治地区幹事 渡部恭伸元地区幹事	糸数 盛夫

### その他会場

本会議場

大宴会場「羽衣の間」(東)

懇親会会場

大宴会場「羽衣の間」(中)

## 部門別協議会出席者



部 門 名	出 席 者 名
<b>会長・幹事部門</b> ・会 長  ・幹 事	湧川 昌秀(那覇)      米盛 博和(石垣)      豊村 良春(那覇西) 下地 信輔(宮古島)      儀間 良仁(宜野湾)      長元 朝顕(那覇東) 川畑 保夫(浦添)      吉川 清剛(名護)      上原 信行(那覇南) 武藤 伸吾(久米島)  坂井 博(那覇)      池城 貞光(石垣)      前原 雅司(コザ) 国場 幸明(那覇西)      根路銘康文(宮古島)      吉田 明正(宜野湾) 高嶺 正人(那覇東)      森山 勝也(浦添)      大城 牧子(名護) 友利 敏子(那覇南)
<b>ロータリー基金推進室部門</b> ・ロータリー財団  ・米山奨学委員会 ・バギオ基金	宮城 和博(那覇)      島袋 良夫(コザ)      糸洲 昇(那覇西) 酒井 常信(宜野湾)      福山 俊行(那覇東)      吉田 勉(名護) 平良 慎政(那覇南)  小杉 忠誠(那覇)      上原 洋一(那覇西)      天願 勇(宜野湾) 宮平 良哲(那覇東)      作田 和隆(名護)      金城 盛徳(那覇南)
<b>クラブ指導者部門</b> ・クラブ奉仕  ・職業奉仕  ・社会奉仕  ・国際奉仕  ・ロータリー情報	山田 親夫(那覇)      仁開 一夫(石垣)      大原 博(那覇西) 松原 徹夫(宮古島)      永山 雄一(宜野湾)      緑間 禎(那覇東) 長嶺 文雄(浦添)      仲宗根 保(名護)      稲垣 純一(那覇南)  亀川 栄一(那覇)      徳門 真三(コザ)      宮里 政一(那覇西) 白間 弘造(宜野湾)      西村 眞一(那覇東)      照屋 安正(浦添) 與那嶺茂光(那覇南)  安里 政芳(那覇)      町田 宗俊(コザ)      末安 大孝(那覇西) 新垣真由美(宜野湾)      糸満 盛恭(那覇東)      新垣 勲(那覇南)  与座 嘉博(那覇)      奥間一男(コザ)      仲本 栄章(那覇西) 柏田 吉美(宜野湾)      玉城 哲(那覇東)      高橋 誠一(浦添) 吉田 勉(名護)      崎濱 盛喜(那覇南)  岸本 幸博(那覇)      當山 啓介(コザ)      高田 和泰(那覇西) 宮城 富夫(宜野湾)      外間 晃(那覇東)      藤田 孝一(浦添) 宮城 勝(名護)      大城 眞徳(那覇南)

## 2008-09年度 地区目標



(沖縄) 2008.4.02

国際ロータリー第2580地区

ガバナーエレクト 櫻井 権司

クラブの活性化並びに魅力あるクラブ作りに重点を置いた地区運営を行います。その為に地区組織を変更いたしました。

会員一人一人が職業奉仕の目指すものを充分理解しその上で、地域或いは国際的な奉仕活動をするにより自らの人間性が高まると考えます。

その結果、ロータリークラブに魅力を感じるものであり、その様なメンバーが集まって活力があり、魅力あるクラブとなり自然と入会希望者が出てくるものと思います。

ロータリーのポリオ撲滅は第2580地区の東京麹町ロータリークラブの亡き山田 彝様・峰 英二様の奉仕活動から世界に発信されました。ポリオ完全撲滅も山田・峰様の想いを成し遂げるにも第2580地区より終結といたしたく考えます。

地球温暖化をくい止めるには、文明を謳歌している人々の責任があります。クラブで行われている活動を積極的に支援したいと考えます。

ロータリークラブを正しく理解してもらう為に、クラブの行われている広報活動と並行して地区レベルでも積極的な広報活動を行います。

- 目標
1. 「活力あるクラブを目指して」
  2. RI提案の「ビルゲイツ・メリンダ財団チャレンジグラント」への協力
  3. 地球温暖化は人類の危機、環境保全活動の協力推進
  4. 地区活動の広報を充実

RIテーマ 「夢をかたちに」 「Make Dreams Real」

と発表されました。

これは強調事項を実践して、奉仕を受ける人々（幼児）の夢を実現させてあげようと言うことです。

ロータリーには原理原則があり、それは職業奉仕と考えます。

私は職業奉仕を一言で言えば「おかげさまの心」と、考えております。職業奉仕と奉仕活動とが一体となって初めてロータリー活動となります。

地区テーマ 「おかげさまの心で夢をかたちに」

< 本会議 >



<本会議（第1部）>



開会の点鐘 浅川皓司 ガバナー



ロータリーソング（ソングリーダー；新垣真由美）



司会；アラクン朝子、吉田明正



フロア（参加クラブ指導者の皆様）



ガバナー挨拶 浅川皓司 ガバナー



歓迎の挨拶 ホストクラブ会長 城間 弘造

## <本会議（第1部）>

本会議開催

P E T S 並びに地区協議会の共同開催（宜野湾RC担当）

定刻 本会議開始

点鐘 浅川皓司ガバナー

挨拶 浅川皓司ガバナー

・開催権 現ガバナー

・実質運営は、次年度ガバナーエレクト及びその他の役員が担当

挨拶（ホストクラブ会長）

（内容は、プログラムの印刷と同じ）

挨拶（次年度ガバナー） 櫻井権司

R I 大会へ参加しての経過説明及び反省事項

次年度地区運営についての発表 （施政方針）



国際協議会報告

次年度ガバナー 櫻井権司 による 国際協議会報告

所信表明並びに次年度地区基本方針

## <本会議（第2部）>

### 研修セミナー

1 / 1



講師： 戸田一誠 P G 現/次年度地区研修委員長

### 研修目的

1. クラブ会長の役割を理解する。
2. クラブ会長エレクトとしていかに準備すべきかを見定める。
3. クラブ・リーダーシップ・プランを導入する。

第XXXXX地区  
会長エレクト研修セミナー

### クラブ・リーダーシップ・プラン

- ・ クラブ・リーダーシップ・プランは、ロータリー・クラブに推奨される管理構成である。
- ・ RI理事会は、ロータリー・クラブが、以下をもたらしリーダーシップ・プランを開発し、活用するよう奨励している。
  - プロジェクトおよび意思決定の継続性
  - 意思決定および目標設定の際の統一見解
  - 研修を十分に受けたリーダーの育成
  - クラブ指導者の引継ぎ計画

第XXXXX地区  
会長エレクト研修セミナー

### クラブ会長の責務

- ・ クラブ広報委員会を任命する。
- ・ クラブのプロジェクトや活動が、報道機関から好意的な意味で注目を集めるようにする。
- ・ 成果の上がる奉仕プロジェクトまたは活動のための広報の機会を探す。
- ・ 自らクラブの代弁者となるか、または代弁者となってくれるクラブ会員を特定する。
- ・ ロータリーを推進し、クラブ広報に参加するようクラブ会員の意欲を高める。

第XXXXX地区  
会長エレクト研修セミナー



パワーポイント風景

## <本会議（第3部）>

### オープンフォーラム

1 / 4



司会進行 （櫻井権司ガバナーエレクト）

Q. 大原 博 （那覇西）

ロータリー基金推進室の中に今回バギオ基金委員会が入りましたが、その経緯について説明をお願いしたい。

A. 古宮誠一パストガバナー

このバギオ委員会の有り方については、次年度は会長エレクトを中心に検討されて来ており、従来のロータリー財団、米山奨学委員会にバギオ委員会を加えて、ロータリー財団基金推進室として運営することになっている。

A. 櫻井権司ガバナーエレクト

バギオ基金に(補足説明)

なかったが、次年度は、バギオとロータリーの相互関係をもっと理解するために、一応、財団室の中に委員会を設けて取り組んで行きたい。後日、新たな見解が出れば、皆様に説明をしていきたい。

## <本会議（第3部）>

### オープンフォーラム

2 / 4

#### Q. 平良慎政

バギオよりももっと地元に着した問題はないのか。たとえば、沖縄のアメラジアン  
の学校に対して、育英資金を役立てることは出来ないか。



#### A. 櫻井権司ガバナーエレクト

今後バギオ以外でも提案があれば、地区に  
申し出て欲しい。取上げて行きたい。

#### Q. 高橋清一郎

交換留学生について三項目質問

- ① 送り出しの国での留学生選抜基準はどのようになされているのか。
- ② 行き先の国について、本人の希望がかなえられるのか。
- ③ 留学途中の段階で事情によっては、帰国をさせることが出来るか。

※ 因みに現在、私共宜野湾ロータリークラブでは、南アフリカからの男子留学生を引き受けております。

#### A. 浅川皓司ガバナー

- ・ 東京では来日した交換留学生に対して、守らなければならない事柄については、指導をしている。
- ・ 同時に日本語研修も配置前に行っている。(約1週間)
- ・ 上記事前指導については、今回の南アからの学生に対しては行っていない。  
(東京に1日だけ滞在 来島)
- ・ 質問事項の①と②については、明確な説明がなかった。

③については、次のような説明

- ・ もし、交換学生自身にどうしても留学の目的や趣旨が理解してもらえない場合とか、その他の重大な問題点が生じた場合、事例によっては、帰国をさせることが出来る場合もありえる。

勿論、このような問題が生じた場合前以って地区の役員と相談をして十分な検討をした上で対応して戴きたい。

## <本会議（第3部）>

### オープンフォーラム

- 今回の宜野湾クラブからの交換留学生についての質問に沿ってその他多くのクラブからの追加や補足説明があった。

それだけ、ホストクラブとして、ホストファミリーとしての過去の体験談があり、この青少年育成事業について大いに賛同する人や、また、反対をする人など活発な意見交換が行なわれた。

- 以下、次のクラブの方々からの交換留学生についての体験発表がありました。

安里政芳（那覇）  
川畑保夫（浦添）  
平良慎政（那覇南）  
緑間 禎（那覇東）  
仲本栄章（那覇西）



#### A. 櫻井権司ガバナーエレクト

青少年交換については、制度を

一度見直して本来あるべき留学生制度に戻して、留学生の総数も今後少なくしていきたい。

#### A. 浅川皓司

世界色々な国からの留学生が、来日しております。今回、全留学生を集めて、東京を中心にジャパンツアー（修学旅行 約10日間）を企画しております。

色々な国からの学生との交流が行なわれますが、その実体験を通して、本人がどのように変化するか、意識の改革が見られるか、期待して見守りたい。

一方、交換留学制度は、ある意味では、国際間の大きな奉仕活動の一つであり大変大事に考えている。ご苦労ではあるかと思いますが、どうか親善使節としての使命が達成出来るように、頑張って戴きたい。

#### 提案 柏田吉美（宜野湾）

留学生については、色々な問題点があるが、悪いことばかりではない。

一方、宜野湾ロータリークラブでは、これまで沖縄分區を中心に地元のアメリカン問題に取り組んで来ており、立派な貢献をして来ております。

このように、ロータリークラブは、社会に於いていいこともやっていることを発表して終りにしたいと思います。

## <本会議（第3部）>

### オープンフォーラム

4 / 4

提案 泉 恵得 (宜野湾)

環境問題についてこれは質問ではなくお願いとして。

宜野湾ロータリークラブでは、毎回週報の裏ページに環境保全推進宣言と云うことで、エコ思想推進7ヶ条を明記して例会のオープニングで全員でもって復唱しております。この精神を私共は、日々生活の中で実践している。出来れば、このエコ思想を地区全体、全日本、更に全世界へと広げて行って欲しい。



暑中お見舞い  
申し上げます



閉 会



閉会のことば 地区協議会実行委員長 宮城 富夫

## < 部門別協議会 >





リーダー	小澤 秀英	パストガバナー
	櫻井 権司	ガバナーエレクト
	岩尾 碩	地区拡大増強副委員長
	鈴木 照夫	次年度地区幹事

<櫻井権司ガバナーエレクト基調講話>

地区の組織を変更して室制度を設けることに致しました。分区の情報やそれぞれのクラブの情報を逐次ガバナーの方へ報告していただけるのですが地区委員会の方はどうかといいますと、今までですと前半はガバナーは公式訪問でそちらの方へ手が回ってしまいます。地区委員会も一年間の計画ですから動いていくわけです。ガバナーと地区委員会とのコミュニケーションが取りにくいことが一つあったこと、それからもう一つ、私の年度は魅力あるクラブ作りを第一に掲げて、地区組織を上げて全面的に71クラブを支援していこうと計画を立てています。

ガバナー補佐の皆さんからいろいろな情報をいただいてもクラブでは”こういう情報があり、こういう要求があります”といわれて”地区としてはどう動かなければいけないか”という時に地区を運営している地区組織やガバナー補佐も分区を通じてクラブを把握していますので、地区という組織に”室”という委員会を一つ上に上げて、今まで大委員会という

## <部門別協議会> 会長・幹事部門

(クラブ会長・幹事)

2 / 4

形で四大奉仕としてありましたが、ある意味で強力な指導力をもっても良いのではないかと  
いうことで室制度を設けました。

室制度を設けることによって、それぞれの委員会の情報を把握し、そしてクラブの状況を  
把握したガバナー補佐と、地区委員会の状況を把握した室長がそれぞれ定期的に会合を持つ  
ことによって、それぞれの情報がそこに集まってくることになります。そこで地区として  
どう対応すべきかという時に”会合ですぐに行動に移せるのではないか”ということで室制  
度を設けた訳です。

そのことで3月に1回ガバナー補佐と室長と地区幹事、副幹事を含めて「地区指導者協議



会」を開催していろんな協議をして行こうと今動き  
出しました。

特に青少年交換のホストクラブやホストファミリ  
ーの事について、メンバーの多いクラブ、少ないク  
ラブが積極的に参加できない状況を地区としてどう  
対応するかを、即座に研究し調整できることが可能  
だと思えます。

又、クラブの活性化や行動するに当たり、地区委員会との連携や力を借りたい場合は、地  
区指導者チームの協議会で話し合うことによって双方の状況がそこに集められて物事が事前  
に進むのではないかとすることで”5つの室”を設けました。

### ※クラブ奉仕室

- ・地区には広報委員会はありませんでした。

これについてもR Iの方から公共イメージという部分もありますので、地区の広報をして  
いく地区が今どんな活動をしているか、ロータリークラブではなく一般市民に広報していく  
ことが大事である。

特に当地区に於いては、青少年育成では東京都の教育委員会とタイアップして青少年育成  
のキャリア育成に協力したり、あるいは青少年交換、あるいは対人地雷とか、いろんな部分  
でロータリーとしての奉仕活動を一般社会に知っていただくことも大事なことです。

どういう機会をとらえて、どのような方法で広報していくか、研究し実行していただくこ  
とで広報委員会を設けました。

- ・そして情報委員会これも新しい委員会です。退会者数と入会者数がほぼ一致しています。

ここ3年間のスパンで見ると、それだけ退会者が多いということはロータリーの教育がク  
ラブとしてしっかり行われていないのではないかと、という部分を地区でもお手伝いしよう  
ということで、ロータリー情報委員会を設けてクラブでの勉強なり、地区で持っている情報を  
素早くきちっと正確に届ける、という意味合いを果たしていただきたいと思えます。

※職業奉仕室

ここには一つの委員会しかありません。

職業奉仕は”金看板”で、ロータリー活動をするに当たって根幹な部分であろうと私は認識しています。ロータリーの奉仕というものを何とか継続的に勉強して欲しい、ということで職業奉仕室イコールそのまま一つの委員会で継続的に職業奉仕だけを勉強していくことを狙っています。

そして4月に東京地区協議会が終わってからになると思いますが、この委員会には誰でも参加して良いということで、年度当初は4回ないし5回のプログラムになっています。塾的な感じで、この委員会を動かして行きたいと思っています。



※社会奉仕室

青少年育成、東京都の教育委員会との関連もありますので今までの事業を継続して行こうと考えています。

- ・ローターアクト、インターアクト委員会

今後ローターアクト、インターアクトという部分と、それぞれのロータリーの部分をはっきりしていこうと考えています。ある意味で現在資金的な関係だけで地区とかかわっているという部分もあります。提唱クラブ、地区、そして本来動くべきローターアクト、インターアクトが今後の問題で環境を保ちながら活動をしていくことをしっかりと見極めて欲しいと同じ様な形でローターアクト、インターアクト委員会をそのまま設けます。

・環境保全委員会

社会奉仕委員会の中の一部として「環境保全委員会」がありました。重点テーマとして地区としても環境問題をとり上げたい、ということで社会奉仕委員会が室に変わりましたので環境保全委員会として独立させました。

各クラブで現在行われている環境保全活動について、地区として何かお手伝いできれば勢いづける形で委員会を動かして行きたいと考えています。

※ロータリー基金推進室

お金を集めるという以前に、それぞれの今活動している部分をよく理解して欲しい、ということで纏めて上げました。

・ロータリー財団について

今まで通り米山奨学生の採用なり、あるいはお世話になる各クラブでカウンセラー等と、うまくコントロールをしていかなければならないので委員会活動としてロータリー財団、米山奨学委員会というのは例年変わらな

いのですがこういう形で置きました。

・バギオ委員会

バギオ委員会といいますのは、残念ながらお金を集める母体はロータリーであるけど、バギオ育英会ではロータリーと離れた独立組織となっている。

ロータリーがその中で関与したいというつもりはありません。



ただ現実としてお金を集める母体はロータリーであるという、きちっとパイプ役を地区としての受け皿（窓口）をおいておかないと、バギオ委員会に対して物申す、或いはバギオの方から”何か地区に対して話があれば委員会が受けて検討していく”ということですので、バギオ委員会と同じ様に啓蒙活動、資金集めの活動をするということではなく、あくまで受け皿という形でおきましたので一つ誤解のないようにお願いします。

以上が地区の組織の大きく変更したという事で報告させていただきます。



リーダー    古宮誠一    パストガバナー  
坂下博康    (財)ロータリー米山記念奨学会事務局長

古宮 PG

どうもお疲れ様でございます・・・略

次年度の年度がこの七月から入るわけですがけれども今日はそのPETSにしても、地区協議会にしても次年度に対応する勉強と云う事でございます・・・略

次年度からの四大奉仕は、即ち職業奉仕、クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕の委員会をそれぞれ社会奉仕室、国際奉仕室などと各々室の名称に変わる事になります。又、従来の国際委員会から離なれて活動してくれと云うことで、ロータリー財団と米山奨学会に新たにそれとフィリピンの「育英資金」バギオ基金を併せて（現在2750地区が中心となり私共2580地区や他地区も協力している）、三つをまとめて「ロータリー基金推進室」でやってくれということなんです。いわゆるロータリーの中で寄付をお願いする委員会ですね。

そこで①バギオ基金・②ロータリー財団についてお話を致しまして、それから③米山奨学委員会については、坂下様がお見えになっておりますので後から説明致します。

#### ①バギオ基金

バギオについては、沖縄分区内でも松島PGはじめ熱心な方がおられまして、・・・略前年度から当地区でも「バギオ基金」に加わり、はじめて前川PGが会長になっていますが、バギオの歴史は、青い資料に詳細が記載されていますので参考にしてください。

(クラブで閲覧できるとよい)    ~中略~

#### ②ロータリー財団

ロータリー財団としては、財団のプロジェクト、何にみなさまの浄財が使われているか？多くのロータリアンからの疑問、問い合わせに答えるように、地区財団委員会では説明用のビデオを作成しました。このビデオテープをご覧ください。

~以下省略~ (クラブで観覧できるとよい)



### <坂下 米山記念奨学会事務局長 講話>

ロータリー米山記念奨学会事務局、坂下でございます。今日はわざわざ時間を作って頂きましてありがとうございます。せっかくですので20分ちょっと、私がこのパワーポイントを使いまして、米山は何なのか？っていうのを実は分かっているようで分かっていない部分もございますので、最近の動きも含めましてご説明させていただきます。

今、小宮パストガバナーからあった趣旨はよく似てまして、内容を理解して頂けたらば、非寄付を推進して事業を推進していただきたいということで、そういう意味ではよく似ている話かなと思って伺っておりました。

ちなみに、今財団の方はドル換算でございますので、一月には98円という非常に円高を享受する為替レートとなっております。ただ、米山は為替レートは関係ございませんので円だけで推移をしております。では、簡単にご説明させていただきたいと思っております。

本日は時間の関係もございますが、今日は三つの話をさせて頂きたいと思っております。一つはロータリー米山記念奨学会という会のロータリーでの位置づけ・歴史を含めてお話をさせて頂き、もう一度レビューという形になると思いますが、お話をさせて頂きたい。

それから二つ目は、米山事業というものの性格なんです、例えば関場氏という青森県のパストガバナーがおられます、彼が言うところの「これこそロータリー」と…。実は藤川享胤氏という山形のパストガバナーもおられます。彼もいろんなサポートしていただいておりますが、そういう中での「感動というものをロータリーの中で探すとするならば」という意味で、まあひとつの「米山が在る」のかなぁと思っているというのが二つ目。

先ずですね、歴史を簡単にしますが、1946年に米山氏が亡くなられました。そのとき、戦前戦後を通して最大の慈善団体と言われております「三井報恩会」、現在はもうほとんど無くなってしまっておりますが、巨額の寄付を三井から受けていたその最初の理事長として活躍をされました。その後は、小学校の校長先生として終戦を迎えられまして、小学生の難、疎開なんかでだいぶ苦労されたわけですが。その間も戦争末期の時も、書画骨董を売って職員の給料に充てて、最後は教育に邁進されたと言う事でございます。

1949年に日本はロータリーに復帰致しました。まさに戦後の復興の中で、東京ロータリーの会長古沢文作氏が、私案を発表したわけで、奨学事業をやるうじゃないかと。海外から日本に来る留学生を支援する奨学事業をやるうじゃないかと。これ実に（米山）翁の生前意図されたロータリー事業の一つであり”翁の威徳を称する無形の金字塔となさん”ということでございます。

その後、二つの地区大会で決議をされました。この「米山奨学事業がロータリーの国際奉仕として最もふさわしい企てであって、その連続性が望ましい」と、更に「財団法人として



## <部門別協議会>      ロータリー基金推進室部門

(ロータリー財団・米山奨学委員会・バギオ基金)

3 / 4

全国的な組織を成すべき事をここに決議する」これから十年以上かかるんですが、日本全国で米山奨学事業をやろうという委員会が出来たわけですが、その最初の委員長は、その年にRI理事に就任したばかりの小林雅一氏（東京RC）が就任して、59年、60年あたりで、今の原型が出来て来ております。

あと一つは、現在この奨学事業の一番良い、一番のメリットと言われます世話クラブ。学生を面倒見ているクラブが自然発生的に出てきたものが世話クラブの設置という形です。

ロータリー米山記念奨学会という名前も、この時に出来ておまして財団法人になる前ですが、即ち、ロータリーで米山記念で奨学会だと言う事です。1967年、財団法人が曲折を経て認可されるわけですが、その趣意書に書いてある事がございます。この財団法人は全国ロータリークラブの寄付を主たる財源とし、ロータリー会員によって運営され、ロータリー目的達成に寄与する事を目的としている設立趣意書を文部省に出したものであります。

それで、この辺でよく質問を受けます。普通寄付って何なんだろうと。実は地区、沖縄におきまして普通寄付は出して頂いております。実はその普通寄付の原点とはここにございまして、当時文部省は財団法人の設立に待ったを掛けておりました。財団法人と言うからには、奨学事業を始めると言うからには、安定した収入がないといけないと。他にも財団はあるんですが企業系がボーンとお金を出して、その利息で奨学生を支援するといった。ロータリーは最初にお金はありません。毎年の寄付で賄う、絶対集まるというギャランティーはどこにあるんだという事を文部省から言われまして、だいぶ苦労して、それもあって時間が掛かったわけです。それに対するロータリーの答えが「全国ロータリークラブから寄付を必ず出してもらい、それを主たる財源として全てロータリアンによって運営します。」という事を言って、1967年に全クラブから米山奨学金の普通寄付を出しますと言う、会長名の文書を頂いております。それを文部省に出した事によって財団法人が認可された、ということです。財政的に言いますと、今現在14億円の寄付をこの数年間毎年いただいております。前はもうちょっと多かったんですが（笑）。その内の三分の二ぐらいが特別寄付、三分の一が普通寄付です。当時は全部普通寄付という形で一人何千円、たばこ一箱ですからそんなにすくなくなかったんです（笑）。特別寄付を頂けるようになったのはもっと後です。つまり、一部の方がお金を出そうという形で出して頂いた。そういう経緯で出来た財団でございました。

～中略～

2004年11月の国際ロータリー理事会の決議の中で「奨学生への奨学金の授与を通し世界理解と平和に貢献されているロータリー米山記念奨学会を賞賛する」という形になっております。これだけの歴史を築いてきた日本最大の民間の奨学団体で有りますし、ロータリー財団の学友が九千何名とありましたが、こちらは歴史が古く13,902人の元奨学生がおります。学友は様々な活躍をしております。例えば韓国、台湾では、米山の元学友がガバナーになっております。元駐日韓国大使もいます。スリランカの警察庁長官もおり、スリランカで騒乱があったときに日本人を助けてくれたという事で日本政府から勲章も与えられました。

台湾故宮博物院の現院長林曼麗（リン・マンレイ）さん、彼女は二回に渡って米山奨学金を受けています。昨年五月に米山学友が中心になって作った台中文心ロータリーというのも出来ております。その学友会が、今度は日本の学生が台湾に留学したときに日本人に対して奨学金を出そうと、取り敢えず年間一人であります。来年からの構想を練っております。また、北京在住の元奨学生の弁護士が去年八月に50万円を送ってくれまして、今後毎年50万円を送っていただけると。「一昨年までは中国政府の規制があって個人が送金するのは難しかったんです」という話をいただいてました。このように、いろんな活躍をされておられるという事でございます。

～中略～

時間となりましたのでこのくらいで。ご質問等ございましたらまた宜しくお願い致します。

#### 質疑応答

Q: 平良慎政 那覇南RC

バギオ基金とロータリー財団について、バギオというのは先程の説明のようにフィリピンに沢山の日本人がいて、敗戦のためにすいぶん苦労をなさっているのという事で、その子供達を助けるという事で始まったと聞いておりますけれども、バギオ基金の援助を受ける子供の国籍はどうなっているのですか？

A: 当初スタートしたときは、日本人の子供達が殆どだった。二十年たってだんだん多くなってきて、今は現地の子供達に対しても支援をしている。年間二万ドル程度の金額をあるロータリークラブを通じて支援をしているという事です。

Q: 日本から行った方は、何故敗戦と同時に日本に引き揚げて来なかったのでしょうか？

A: 最初は明治の時代に道路を造る作業員として行きましたね、その人達の一部が残って、戦前は二万八千人ぐらいの日本人が居た。それが戦争になって、日本軍に応援したり徴兵されたりして働いた。日本人は軍属として60万人ぐらい行っているがその内10万人ぐらいしか帰ってこなかった。日系人もかなりいたが、帰ってこられなかった事情があったんじゃないでしょうか。向こうで所帯を持ち、明治の時代から居た方もあったんじゃないでしょうか。

Q: 私は、日本人と現地人との間に出来た子供達を支援するための団体かなと思っていました。

A: 基本的には日系の子供達の学費を出してあげるという奨学制度、育英制度だという事です。



記録係 新垣義夫 (宜野湾RC)

## <部門別協議会> クラブ指導者部門

(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・ロータリー情報)

1 / 4



リーダー	戸田 一誠	パストガバナー
	浅川 皓司	ガバナー
	小川 明治	地区幹事
	渡部 恭伸	現/次年度地区研修副委員長

### <浅川ガバナー>

今日の話や資料をぜひそれぞれのクラブにお持ち帰りになって、クラブの例会でしていただきたい。

### <戸田パストガバナー>

ロータリーの4つの奉仕部門を概観することで話をしていきます。

4大奉仕は、ロータリーが成立して時間がたってから整備されてきた。最初の段階では、見知らぬもの同士が胸襟を開いて交わることができるようにと、親睦に大変力をいれていた。しかしある様々なきっかけから、社会奉仕活動に目覚めた。ところが奉仕という概念が誕生してくると、親睦をしているより「真剣に奉仕に取り組むべきではないか」という風潮がでてきた。時間をかけた議論で、奉仕を具体的にするためには、私たち自身に奉仕の心が芽生えなければならない、その奉仕の心を芽生えさせるものは何かというと、親睦だという考えにたどりついた。その当時のロータリーは一般的な奉仕団体であって、今日のように職業奉仕を”金看板”にするような発想はまだなく、奉仕の心を養う手立てとして親睦に力をいれ、奉仕の心が培われた結果として、具体的な社会的奉仕活動に乗り出していくという、”親睦と社会奉仕”の2つを熱心に取り組んでいた時期がある。

やがてライオンズクラブが出現することによって、ロータリーでいう”奉仕とは何なのか”と言うことで、哲学的、思想的な発想が誕生してきて、「職業奉仕」という概念が生まれてくる。職業奉仕はそういう意味で一般奉仕の1枚看板の裏表いうことができ、この奉仕が地域社会に向けたものが社会奉仕、遠く国境を越えて、他の国々に及んだものが、国際奉仕と

## <部門別協議会> クラブ指導者部門

(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・ロータリー情報)

2 / 4



して分類していく。

またクラブ奉仕は極めて大事なものであるという認識をしていただきたい。皆さんが行う例会も典型的なのですが、例会は閉鎖空間の中に大勢の会員を一定の時間閉じ込める。そこで何が行われるかというと、地域を代表する専門職業人、あるいは企業経営者の人々が長年にわたって築きあげてきた精神的な境地をお互いに交換し合うのです。

そして長い時間を掛けて充実した”精神的境地”に到達しようというのが毎週例会を繰り返す最大の目的であります。充実した”精神的境地”を職場に持ち帰る、あるいは地域社会に持ち帰る、業界、家庭に持ち帰ることによって、一人ひとりのロータリアンとしての輝きが知らず知らずのうちに周辺を照らし出すというのが、ロータリーの様々な会合の一番大事な役割であり、目的である事を踏まえておいていただきたい。従ってそれぞれが持っている専門職業人、企業経営者としての精神的境地という極めて大事なものをお互いに惜しみなく与え合うところを考えますと、ロータリーの例会上コストが多少高くなってもやむを得ないという気もする。同時に毎年様々な委員会に所属することによって、私たちは長い時間をかけていつの間にかロータリーを習得することができるように仕組みられている。毎年ポストを交代していくことによって一人ひとりがロータリーに習熟していくわけである。重要であればあるほど、大勢の人がその重要な任務に関わる事によって、”ロータリアンとしての熟練度を深めていくのだ”という理解が必要であります。

奉仕部門の2つ目は職業奉仕についてを説明します。

職業奉仕については様々な文献がありますので、ぜひ学習を深めていただきたいと思えます。力の強い有能な人間が、自分の実力を悪い方向に流れていかないように、自己制御するというのも大事な職業奉仕のパートであろうということでもあります。

社会奉仕につきましても、ロータリーの基本的な哲学が書かれている資料もあります。国際奉仕は、単純にいうと親睦活動や社会奉仕活動の国際版ということでありましたが、個人と個人の人間関係を密接につなげ合わせていく事によって、世界平和の実現に向かって行こうという認識が深まって、これこそまさにロータリーが目指す大きな目標であるということに固まってきました。



私はクラブが提供してくれる様々な機会を利用して、私たち自信が自分の才覚でもって人生の生き方を工夫していくことこそが、ロータリーがいう奉仕であるということを入会后15年後に理解しました。絶えず優れた人々と触れ合う事によって内部充実を

図らせていただいて、精神的境地を地域社会に還元していくという志をもてる同士をいかにたくさん作り上げていき、送り出すかということが、ロータリーの”奉仕という名”の「最大の奉仕なのだ」と理解できた。

私たちは奉仕部門に参画することによって、色々な活動を通じながら、一番最大の目的は「自己自身の精神的陶冶」、精神的陶冶の結果、最終的には個人のつながりが世界平和の実現に向かっていくことをロータリーが一番大きな目標にしているのであります。

ロータリーは楽しいだけものではなくて、基礎を学習し、私たち自信が生き活きとロータリーを人に語れなくて会員増強もありはしない、また世界平和の実現をおこがましく語る事はできない。そういう意味で基礎学習は大変重要で、意欲を持ち続けることによって始めて、新しく展開される舞台を踏んでいく事が出来るのです。



Q. 柏田 (宜野湾RC)

ロータリーの本当の魅力はどこにあるのか？ 入会して16年たつがマンネリ化してしまったが。

A. 浅川ガバナー

クラブの魅力は職業人として素晴らしい先輩方がおり、クラブライフだけではなく、色々なところでご一緒し、たくさんの事を学び、またその先輩の友も素晴らしい人々で個人的に生活に潤いがでた自分たちの知らなかった世界の人々との素晴らしい出会いがある。

Q. 稲垣 (那覇南RC)

<意見>

- 1、ロータリーに入った喜び・・・バッチをみた外国人に声を掛けられ、尊敬しますといわれた (ロータリーの資金で勉強させてもらった人であった)。
- 2、ロータリークラブ会員名簿について、個人の名簿は発行する事が可能である。個人的意思確認をとれば、、、

<質問>

- 3、4大奉仕のバランスはどのクラブも同じなのでしょうか？  
段階的な考え方があってよいのでしょうか？

A. 戸田パストガバナー

クラブ奉仕だけは継続し営まないとクラブが壊れてしまう可能性があります、その先はそれぞれのクラブのご事情によっていかようにも選択して構わない。

## <部門別協議会> クラブ指導者部門

(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・ロータリー情報)

4 / 4

### Q. 宮城（宜野湾RC）

ロータリー情報について、新しい情報を更新して、週報やHPそして例会でPRしているがなかなか見えていない方が多い。なかなか難しい。何かあると「手続き要覧」というが、それが最も難しいし、分かりにくい。この「手続き要覧」もクラブに1冊限定でしかも遅配がちであるが、取り扱い方についてご指導お願いします。

### A. 浅川ガバナー

最新版は出ている。もしかしたら事務局でとまっている可能性がある。

熱心に読まれてる方もいますし、一部では読まれざるベストセラーとも言われる。委員長が例会でひと言、載っていた記事の話を皆さんに流したら興味をもった方は詠む可能性があるので、ひとつよろしくお願いします。

### A. 戸田パストガバナー

「手続要覧」については、規定審議会が開催された年ごとに変わります。ウェブサイトでもいち早く最新の情報を採ることができる。

今年度6月2日に地区指導者育成セミナーを計画している。年に2回くらい定期的に行なう予定。沖縄でも行なう予定しています。



# 懇親会



# 懇親会





# PETS・地区協議会実行委員会組織

2008年4月2日(水)

ホストクラブ会長 白間 弘造

実行委員長 宮城 富夫 副委員長 泉 恵得

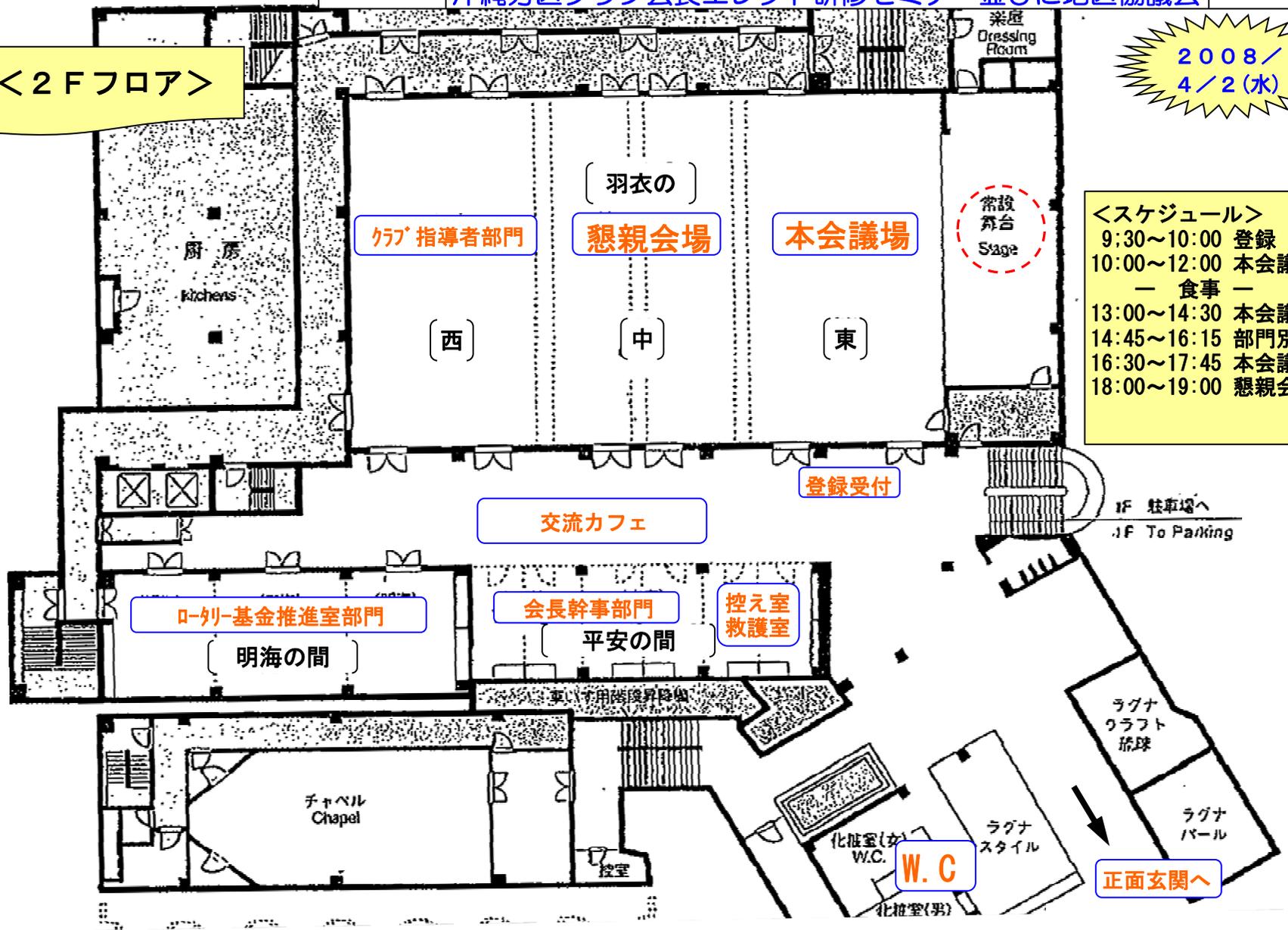
担当部会	担当部員	担当分掌
総務	◎ 泉 恵得 ○ 根路銘 安俊 儀間 良仁 吉満 光徳 宮城 富夫 平安座 唯盛	総合企画、実施総括 地区、分区、各クラブとの連絡 プログラムの決定、作成 参加者への案内、出席確認 その他関連事項
財務	◎ 柏田 吉美 ○ 内間 正 砂川 隆二	収支確認 決算書作成
登録	◎ 大坪 慎治 ○ 宮里 澄子 小橋川 真子	参加者カード作成 参加者名簿作成 受付、出席記録 その他関連事項
会場 設営	◎ 比嘉 行健 ○ 東門 一雄 永山 雄一 多賀 良則 岸本 和直 具志堅 一郎	会場の設営一切 食事、その他の手配 会場監督 参加者の案内 その他関連事項
進行	◎ 乃川朝子 ○ 高江洲 静江 吉田 明正 天願 勇	司会、進行 各部との連絡調整
記録・ 報告書	◎ 高橋 清一郎 ○ 仲松 照夫 ☆ 新垣 義夫 ☆ 糸数 盛夫 ☆ 仲吉 サダ子 宮城 富夫 伊達 隆英	記録、撮影 報告書作成 その他関連事項
ソング リーダー	◎ 泉 恵得 ○ 新垣 真由美	合唱の指揮
接待	◎ 酒井 常信 ○ 比嘉 盛吉 仲本 朝英 山城 源治	来賓、招待者の送迎接待 その他関連事項
救護	◎ 砂川 隆二 ○ 比嘉 盛吉 天願 勇 許田 英子	急患の対応

◎ 部会長 ○ 副部会長 ☆ 部門別協議会記録係

2007~08年度国際ロータリー第2580地区  
 沖縄分区クラブ会長エレクト研修セミナー並びに地区協議会

<2Fフロア>

2008 /  
 4 / 2 (水)



- <スケジュール>
- 9:30~10:00 登録
  - 10:00~12:00 本会議(第1部)
  - 食事 —
  - 13:00~14:30 本会議(第2部)
  - 14:45~16:15 部門別協議会
  - 16:30~17:45 本会議(第3部)
  - 18:00~19:00 懇親会



2007-08年度 国際ロータリー 第2580地区(沖縄分区)  
クラブ会長エレクト研修セミナー  
並びに地区協議会報告書

発行； 宜野湾ロータリークラブ  
〒901-2223 宜野湾市大山2-9-25-2F  
TEL 098-898-9000 FAX 098-898-0003  
E-メール ginowan-rc@ceres.ocn.ne.jp

Web [宜野湾RC](#) [検索](#)



2008 - 09 年度  
国際ロータリー会長テーマ

ホストクラブ  
事務局

宜野湾ロータリークラブ  
TEL 098-898-9000